# $r_{y-y=y=0}$ PG-70VPATTERN GENERATOR



このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。 安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



## この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1) 電源プラグ、コードは

- ・定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

#### 2)本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を 停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに 電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・消火器の設置をおすすめします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

#### 3)修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

#### 4)その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめて から行ってください。
- ・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1)機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
 また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

#### 2)外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。 マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

#### ●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
   また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
   安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
   期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

### 保証規定

本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
 なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

(1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

②保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

#### ③修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、 以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

#### **④アプリケーションソフトについて**

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

#### 何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

## ------ 目 次 ------

この製品を安全にご使用いただくために	I
保証規定	III
1. 概 説	1
《特 長》	1
2. 機能チェック	2
1. 構 成	2
2. 筐体への取付け	2
3. POWER ON までの手順	2
4. 基本動作チェック	2
3. 各部の名称と働き	3
1. メインモジュール正面/コネクターモジュール	3
2. メインモジュール基板面	4
4. 操作方法	5
1. 基本操作	5
2. メニューツリー	6
3. 各機能説明	7
5. トラブルシューティング	8
6. 外部インターフェース	9
1. REMOTE(PARALLEL)	9
2. RS-422	12
7. SNMP	13
8. 仕 様	15
1. 機 能	15
2. 定 格	15
3. 性 能	16
9. ブロック図	17

#### 1. 概 説

PG-70Vは、"ちょい待ち"やネットマークなどカラー静止画を内蔵フラッシュメモリーに記録し、FILL, KEY信号を出力します。FILL, KEY出力信号は2レイヤー合成出力も可能です。

カラー静止画はパソコンなどで作成したJPEGファイルを筐体実装のLANから専用アプリケーションでPG-70Vへ 転送(アップロード)します。静止画は最大16枚登録することができ、プリセットパターンとして任意の静止画2枚をプ リセットすることができます。プリセットパターンには表示位置、自動送出モード等の設定を持つことができ、専用ア プリケーション又はモジュール正面操作機で設定変更を行います。プリセットパターンは10パターン登録でき、外部 10接点で制御することができます。

#### 《特 長》

- CH1(レイヤー1), CH2(レイヤー2)を合成して出力 ※1
- 任意に選択したファイルを指定の時間で切り替えて送出する自動送出モード
- 静止画ファイルはフラッシュメモリーに保存
- 電源投入時に全ての静止画をフラッシュメモリーから描画メモリーに転送しますので、瞬時に画面を切り替える ことが可能
- リファレンスは BBS 信号、3 値 SYNC(HD-SDI フォーマットを選択した時)に対応
- 静止画ファイルは最大 1920×1080 ドット(525i は 720×486 ドット、625i は 720×576 ドット)
- カラー静止画ファイル(JPEG、TARGA、TIFF)は専用アプリケーションで転送 ※2
- 1 つのモジュールからリファレンス信号を他のモジュールに分配する REF MASTER/SUB 機能 ※3 ※1 プライオリティは CH1(レイヤー1)が上になります。
  - ※2 専用アプリケーションは、付属の CD-ROM から PC にインストールしてご使用ください。
  - ※3 同一筐体内に、コントローラー系モジュール(TLG-70BC、VT-70BC等)が存在する場合や REF MASTER モードのモジュールが存在す る場合は REF SUB モードで使用してください。

#### 2. 機能チェック

#### 1.構成

番号	品名	型名·規格	数量	記事
1	メインモジュール	PG-70V	1	
2	コネクターモジュール		1	
3	取扱説明書		1	本書
4	アプリケーションインストール CD	CD-ROM	1	システム毎に1枚

※アプリケーションの取扱説明書は CD の Document フォルダ内に PDF ファイルで格納されています。

#### 2. 筐体への取付け

ご使用の際には、コネクターモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbusシリーズに 対応します※。実装方法については「各Vbusの取扱説明書」を参照してください。 ※SNMPモジュールが無い筐体を除く。

#### 3. POWER ON までの手順

(1) メインモジュール及びコネクターモジュールを筐体へ正しくセットします。

(2) 筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。

(3) REF INにBBS信号を入力します。

(4) FILL OUTからの出力をスイッチャーなどのFILL入力に接続します。

(5) KEY OUTからの出力をスイッチャーなどのKEY入力に接続します。

(6) 筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します。

#### 4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は、「5.トラブルシューティング」を参照してください。



(1) PG-70Vに画像を転送します。(転送方法は別紙、「PG-70Vアプリケーション取扱説明書」をご覧ください)

(2) リファレンス信号分配モードを【EDIR】にします。

(3) BBS信号をREF INコネクターに入力します。

(4) FILL, KEY OUTコネクターをマルチスキャンモニターへ接続します。

(5) FILL, KEY OUTコネクター1,2の出力が正常に出力されていることを確認します。

## 3. 各部の名称と働き



(1) REFランプ

REF INコネクターにBBS信号、または3値SYNC信号が入力されると緑点灯します。 EXT SUBモードの場合、同筐体内にREF MASTER設定のモジュールが存在しない時、又は正常にリファレンス 信号を受信できていない時は橙点灯します。内部バスからリファレンス信号を正常に受信すると緑点灯します。

(2) 表示器

ステータス表示、メニュー表示器です。

(3) MENUボタン

各種設定を行う時に、1秒以上押し続けるとメニューモードに入ります。

(4) ENTERボタン

メニューモード中、各種設定を決定します。AUTO設定のプリセットパターンを選択時に押下すると自動送出をス タート/ストップします。ただしメニューモード中は、実行されません。

(5) 選択ツマミ

メニューモード中、各種設定を選択します。

(6) RS-422

GPI-70B等と接続する通信用コネクターです。

(7) REMOTE

外部制御用コネクターです。APCなど外部装置から表示画面の切替え制御ができます。

(8) REF IN

BBS信号、または3値SYNC信号を入力します。3値SYNC信号はHD-SDIフォーマットで使用する時のみ使用して ください。※画像転送中はリファレンス信号の抜き差しは行わないでください!

(9) FILL OUT1, 2

登録した画像のFILL信号が出力されます。

(10) KEY OUT1, 2

登録した画像のKEY信号が出力されます。



(1) 取手

筐体との着脱を行う際はこの部分を持ちます。

- (2) 筐体接続部筐体内部の基板に接続されるコネクターです。
- (3) コネクターモジュール接続部コネクターモジュールに接続されるコネクターです。
- (4) DIP SW (SW2)

各種設定を行います。工場出荷時設定はDIP SW 1~8番すべてOFFです。またDIP SW 1~6番は工場調整用のためOFFにして運用してください。

フラッシュメモリーのフォーマット(画像データ消去)
 DIP SW(SW2)の7番でフラッシュメモリーの初期化(画像データ全消去)ができます。

	DIP SW 7番	
フォーマット	フォーマット無効	OFF
	フォーマット有効	ON

ONに設定して電源を入れるとフラッシュメモリーが初期化されます。フォーマット中は表示器に「....」が表示されます。フォーマットが完了すると、アイドル表示に切り替わります。フォーマットが終了したら、筐体の 電源をOFFにします。メインモジュールを筐体から取り外し、フォーマット無効(OFF設定)に戻します。

2) 設定データ初期化

DIP SW(SW2)の8番で設定データの初期化(工場出荷時設定)ができます。

	DIP SW 8番	
力地化	初期化無効	OFF
初期16	初期化有効	ON

ONに設定して筐体の電源を入れると設定データが初期化されます。設定が初期化されていることを確認して筐体の電源をOFFにします。メインモジュールを筐体から取り外し、初期化無効(OFF設定)に戻します。

## 4. 操作方法

#### 1. 基本操作

- (1) 電源投入直後、フラッシュメモリー上の画像データを描画メモリーへ転送します。転送完了までは全ての操作 ができません。
- (2) 画像データ転送完了後、モジュール前面の表示器に機種名「PG-70V」と映像フォーマット「59i or 50i or 525i or 625i」と選択されているプリセットパターン「PRE1~PR10」が繰り返し表示されます。
- (3) モジュール前面のMENUボタンを1秒以上押し続けると、表示器がメニューモードになります。 (メニューツリー参照)
- (4) モジュール前面のツマミを廻し、設定する項目を選択します。
- (5) ENTERボタンを押すと設定項目の階層に入り、ツマミを廻して目的の設定を選択します。
- (6) 設定を決定(保存)する場合はENTERボタンを押します。また、変更をキャンセルする場合は、MENUボタンを 押すことにより設定値は変更前の値に戻ります。
- (7) さらに他項目の設定を行う場合は(4)~(6)を繰り返し行います。
- (8) メニューモードを終了する場合は1番上の階層(【FORM】【REF】【PRE】【CONT】【RTK】【PHAS】【VER】)で MENUボタンを押すと(1)の状態に戻ります。
- (9) メニューモードの状態で10分間未操作状態が続くと、設定をキャンセルし、(1)の状態に戻ります。

## 2. メニューツリー

MENU

	[FORM]	映像フォーマットを選択します。
⊢1080i/59	(59i )	1080i/59フォーマット
- 1080i/50	(50i )	1080i/50フォーマット
— 525i	[525i]	525iフォーマット
625i	[625 i]	625iフォーマット
	<b>[</b> REF ]	リファレンス信号分配モードを選択します。
	<b>[</b> EDIR]	REF信号に同期し、リファレンス信号を分配しません。
EXT MASTER	(EMST)	REF信号に同期し、リファレンス信号を分配します。
	(FSUB)	REF信号を筐体内バスから受信します。
	(PRE )	プリセットパターンを設定します。
└─PRESET1~10	(PRF1)	~【PR10】プリセットパターン1~10を設定します。
⊢ CH1~2	CH1 ]	【CH2 】 CH1(CH2)の設定をします。
► ENABLE1~16	Ī1< nĪ	,- CH1(CH2)出力するファイルを1~16で選択します。n=1~16
DISPLAY	<b>DISP</b>	CH1(CH2)表示/非表示を選択します。
	(ON )	CH1(CH2)表示します。
	OFF 1	CH1(CH2)非表示します。
H POSITION	ÎH Î	CH1(CH2)水平方向の表示位置を設定します。
□ □ □ ~ ·····	<b>(</b> 0)	1080i/59/50・0~1919、525i/625i・0~719の範囲で設定します。
	iv i	CH1(CH2)垂直方向の表示位置を設定します。
	<b>(</b> 0)	1080i/59/50・0~539 525i・0~242 625i・0~287の範囲で設定します。
	KLEVI	CH1(CH2)KEYレベルを設定します。
└─ <b>0</b> ~100~200 ······	[ 100]	元のKEYレベルを100として0~200を設定します。
	(AUTO)	自動送出モードの設定です。
	[ARUN]	自動送出モードのON/OFFを選択します。
⊢on	CON J	自動送出モードをONにします。
OFF	OFF ]	自動送出モードをOFFにします。
	(FILE)	出力するファイルを設定します。
⊢ENABLE1~16 ······	(1*)	~【16 *】自動送出するファイルを1~16で選択します。*は選択ファイル。
	ĪH Ī	水平方向の表示位置を設定します。
	[ 0]	1080i/59/50:0~1919,525i/625i:0~719の範囲で設定します。
	ĪV Ī	垂直方向の表示位置を設定します。
∟₀~	01	1080i/59/50:0~539,525i:0~242,625i:0~287の範囲で設定します。
	<b>KLEV</b>	KEYレベルを設定します。
└─0~100~200	[ 100]	元のKEYレベルを100として0~200を設定します。
	<b>TIME</b>	ファイル切り替え間隔を設定します。
└_1~60	[ 1]	1秒単位で1~60秒の範囲を設定します。
	[LOOP]	自動送出のループ再生ON/OFFを選択します。
- ON	ĪON Ī	自動送出のループ再生をONにします。
L_OFF	OFF ]	自動送出のループ再生をOFFにします。
CONTROL	[CONT]	プリセット制御方法を選択します。
	(REM )	外部制御でプリセット1~10を選択して出力します。
□ PRESET1~10	[REM1]	~【RE10】手動でプリセット1~10を選択して出力します。
REMOTE TAKE	[RTK]	外部制御TAKEの動作を選択します。CONTROL設定がREMOTE時のみ有効。
ALTERNATE	[ALT]	外部制御TAKEをレベルで制御します。メーク中ONになります。
	<b>[</b> TRIG]	外部制御TAKEをエッジで制御します。立下りエッジでON/OFFを繰り返します。
OUTPUT PHASE	(PHAS)	リファレンスに対する出力信号の位相調整を行います。
⊢ H PHASE	(H )	水平方向の位相調整です。
	[ 0]	1080i/59/50:±1920, 525i/625i:±720の範囲で設定します。
└── V_ PHASE	[V]]	垂直方向の位相調整です。
└~0~	[ 0]	1080i/59/50:±562, SD:±262の範囲で設定します。
L VERSION	[VER ]	本機のバージョン情報を表示します。
	-	

※【 】内はモジュール正面の表示器を示します。また【 】部分は工場出荷時の初期値です。

#### 3. 各機能説明

- ◆【FORM】・・・・・・映像フォーマットを選択します。
  - 【59i 】 ・・・・・HDTV 1080i/59フォーマット
  - ●【50i】・・・・・HDTV 1080i/50フォーマット
  - 【525i】 ·····SDTV 525i/59フォーマット
  - ●【625i】・・・・SDTV 625i/50フォーマット
- ◆【REF】・・・・・・リファレンス信号分配モードを選択します。
  - ●【EDIR】・・・・・リファレンス信号に同期し、他のスロット基板へ分配しません。
  - ●【EMST】・・・・・リファレンス信号に同期し、他のスロットの基板へ分配します。
  - ●【ESUB】 ·····リファレンス信号を筐体内バスから受信します。
- - ●【PRE1】~【PR10】・・・・・・設定するプリセットパターンを選択します。以下、全プリセット個別設定項目です。
  - ●【CH1】【CH2】【AUT0】・・CH1(レイヤー1)、CH2(レイヤー2)、AUTOモードの各設定を行います。
     以下、【CH1】【CH2】 共通の個別設定項目です。
    - ◆【1or2< 1】・・・CH1 又は CH2 に出力するファイルを選択します。1~16 ファイルの中から選択します。</p>
    - ◆【DISP】・・表示、非表示を選択します。
    - ◇【H 】・・水平方向の表示位置を調整します。HDTV:0~1919、SDTV:0~719(2ドット単位)※1
    - ◇【V】・・垂直方向の表示位置を調整します。HDTV:0~539、525i:0~242、625i:0~287(2 ライン単位)※1 ※1 1080i/59 フォーマット又は 1080i/50 フォーマットでお使いの状態から、525i/59 フォーマット又は 625i/50 フォーマ ットへ変更を行った場合、表示位置が水平方向で「719」、垂直方向で「242」又は「287」を超えている場合には「0」に 戻ります。注意してください。
    - ◆【KLEV】・・KEY レベルを調整します。調整範囲:0~200(登録した画像の KEY レベルを 100 とします)※2
       ※2 内部の構成上、KEY レベルを黒レベルまで下げると FILL 出力も黒出力になります。
    - 以下、【AUTO】の設定項目です。
    - ◆【ARUN】・・自動送出モードの ON/OFF を選択します。
    - ◆【FILE】・・自動送出させたいファイルを選択します。

例:No.2、No.5、No.7 のファイルを自動送出させたい場合つまみを廻し、【2\_】この状態で ENTER ボタンを押すと【2\_\*】となります。(選択完了)

- 再度 ENTER ボタンを押すと【2\_】となり選択解除となります。【2\_\*】、【5\_\*】、【7\_\*】 がこの状態になるように選択します。選択状態になるとさらに階層が表示され、各々【H】】、
- 【V 】、【KLEV】の設定ができます。
- ◆【TIME】・・自動送出のファイル切替え時間を設定します。調整範囲:1~60 秒(1 秒単位)
- ◆【LOOP】・・自動送出のループ再生の ON/OFF を選択します。自動送出のスタートは、外部制御にて TAKE が実行されたところから始まります。(タイミングチャート参照)
- ◆【CONT】・・・・・・制御方法を選択します。
  - ●【REM】・・・・・外部接点(REMOTE)でのプリセットパターン切替えを可能にします。
  - ●【PRE1】~【PR10】・・各プリセットパターンを出力します。※3
    - ※3 PRE1~10を選択時は、REMOTE 制御及び GPI-70B の制御を受け付けません。
- ◆【RTK】・・・・・・外部制御 TAKE のオルタネイト制御/トリガー制御を選択します。
- ◆【PHAS】・・・・・・リファレンスに対する出力信号の位相調整を行います。
  - ●【H 】 ·····水平方向の位相を調整します。HDTV:±1920、SDTV:±720(1ドット単位)※4
  - ●【V】 】・・・・・垂直方向の位相を調整します。HDTV:±562、SDTV:±262(1 ライン単位)※4
     ※4 出力位相設定のみ、HDTV, SDTV フォーマット各々の設定を保持します。
- ◆【VER】・・・・・・本機のバージョン情報を表示します。

## 5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。 (文中の→は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない。

- 原因 ・本体正面の電源スイッチはON側になっていますか?
   ・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか?
   ・本体のヒューズは切れていませんか?
   →もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば、直ちに使用を中止し、当社連絡先に ご連絡ください。
- 現象出力画面がまったく表示されない。
- 原因 ・モニターと本体は正しく接続されていますか? ・電源スイッチはON側になっていますか? →設定方法は「2. 機能チェック」を参照してください。
- 現象 REFランプが緑点灯しない。
- 原因 ・REF INコネクターにBBS信号、または3値SYNC信号が入力されていますか?
   →REF INコネクターにBBS信号、または3値SYNC信号を入力してください。
   →REF信号分配モードを確認してください。
- 現象 出力映像が乱れる。
- 原因 ・リファレンス信号と入力信号のフォーマットが合っていますか? →リファレンス信号と入力信号のフォーマットを合わせてください。

お問い合わせは、当社サポートセンターまでご連絡ください。

#### 1. REMOTE (PARALLEL)

#### (1) REMOTE入力端子

APCなど外部装置から表示画面の切替え制御ができます。

ピン番号	信号名称	機能
1	PI0	プリセット パターン 1 ※1 ※2
2	PI1	プリセット パターン 2 ※1 ※2
3	PI2	プリセット パターン 3 ※1 ※2
4	PI3	プリセット パターン 4 ※1 ※2
5	PI4	プリセット パターン 5 ※1 ※2
6	PI5	プリセット パターン 6 ※1 ※2
7	PI6	プリセット パターン 7 ※1 ※2
8	PI7	プリセット パターン 8 ※1 ※2
9	PI8	プリセット パターン 9 ※1 ※2
10	PI9	プリセット パターン 10 ※1 ※2
11	GND	グランド
12	PI10	TAKE:自動送出のスタート制御 ※2 ※3
13	PI11	予 約
14	N.C.	未使用
15	GND	グランド

※1 100msの接点トリガーで制御します。後取り優先で複数のトリガーが同時に発生した場合、プリセット番号の若番を出力します。

※2 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※3 TAKEはオルタネイト制御/トリガー制御の選択ができます。





#### (2) プリセット制御タイミング



- (3) オルタネイト制御タイミング
  - 1) AUTO STARTタイミング



※自動送出停止中TAKEのMAKEを検知し、ODDフィールドの始まりから数えて2フレーム後に自動送出をスタートします。 2) AUTO STOPタイミング



※自動送出中TAKEのOPENを検知し、ODDフィールドの始まりから数えて2フレーム後に自動送出をストップします。

- (4) トリガー制御タイミング
  - 1) AUTO STARTタイミング



自動送出スタート

※自動送出停止中TAKEのパルスの立下りを検知するとODDフィールドの始まりから数えて2フレーム後に自動送出を スタートします。

2) AUTO STOPタイミング



#### 2. RS-422

(1) RS-422仕様

- ・通信速度19200bps
- ・ビット構成 スタート:1ビット データ:8ビット パリティ:なし ストップ:1ビット

ピン番号	信号名	入出力	
1	GND	-	
2	TXD-	出力	D = cub Q PIN(f)
3	RXD+	入力	
4	GND	-	コインクロ安心
5	+5V_OUT	-	RS-422
6	GND	-	$\left(\begin{array}{cccc} 5 & 4 & 3 & 2 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ \end{array}\right)$
7	TXD+	出力	
8	RXD-	入力	9876
9	GND	-	

※GPI-70B接続専用コネクター(GPI-70Bにつきましては、当社連絡先にご連絡ください。)

## 7. SNMP

PG-70VのMIBデータは以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1.3.6.1.4.1.20120.20.1.148.1.1.項番.indexになります。indexは、スロット番号 1~10です。

(旧識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. .n. 項番. 0 となります。nは、スロット番号1~10になります。)

MIBデータが変化した時はトラップが発生します。

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バ仆数	内容	実装例	SYNTAX
1	pg70∨Pid	R/O	80	プログラム情報	char PID[5][16]の内容	STRING
					製品コード PG-70V	
					会社名 VIDEOTRON Corp	
					バージョン 01.05.00 R00	
					製造日   2010/11/05 FRI	
					時 Build-19:04:52	
3	pg70∨Kcode	R/O	4	機種コード=148	148=0×94	INTEGER
					" <b>!</b>	
40	pg70∨Hard	R/O	4	FPGA のバージョン情報 英数字 2 文字 	"V0″=0x5630	INTEGER
				bit0~15:	"M0"=0x4d30	
1000	pg70∨SlotId	R/0	4	モジュール挿入されているスロット番号	スロット番号3に挿入	INTEGER
				0~9=スロット 1~10	2	
1001	pg70vInputStatus	R/O	4	INPUT STATUS	REF 有り	INTEGER
				bit0:0=REF 無し、1=REF 有り	1	
				bit1:0=内部 REF 無し 1=内部 REF 有り		
				bit2~bit7:未使用		
1002	pg70∨VideoFormat	R/W	4	信号フォーマット	525i	INTEGER
				0 = 1080i/59.94	2	
				1 = 1080i/50		
				2 = 525i		
				3 = 625i		
1003	pg70vReferenceSelect	R/W	4	現在選択されているリファレンス	EXT_SUB 選択	INTEGER
				0 = EXT_DIRECT(EDIR)	2	
				1 = EXT_MASTER(EMST)		
				2 = EXT_SUB(ESUB)		
1004	ng70vPreset	R/W	4	選択されている PRESET	PRESET2	INTEGER
1001	pg/01110000			$0 \sim 9 = PRESET1 \sim 10$	1	Intredent
1005	pg70vControl	R/O	4	選択している CONTROL	PRESET2	INTEGER
				0 = REMOTE	2	
				1~10 = PRESET1~10		

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バ仆数	内容	実装例	SYNTAX
1006	pg70vGenlockPositionH	R/W	4	現在のゲンロックΗ位相	H 位相 100	INTEGER
				1080i∶ −1920 <b>~</b> +1920,	100	
				525i/625i: -720~+720		
1007	pg70vGenlockPositionV	R/W	4	現在のゲンロック V 位相	V 位相 10	INTEGER
				1080i∶ -562 <b>~</b> +562,	10	
				525i/625i: -262~+262		
1008	pg70∨DipSw	R/O	4	bit0~7:0=OFF 1=ON bit8~31:未使用	設定初期化	INTEGER
				bit6: フラッシュディスクフォーマット	128	
				bit7:設定初期化		
1009	pg70vAutoRunStatus	R/O	4	自動送出ステータス	実行中	INTEGER
				0=off 1=実行中	1	
1010	pg70∨Take	R/W	4	自動送出スタート [READ]は常に 0	スタート	INTEGER
				1=スタート 実行中ではストップ	1	

1.機能

静止	:画フ	アイ	゚ル
----	-----	----	----

・画像サイズ	HD:1920×1080、SD:720×486(525i)、720×576(625i)
・転送画像フォーマット	32bit非圧縮TIFF形式(RGB <i>α</i> )
	非圧縮TARGA形式( $\alpha$ チャンネル付き)
	JPEG形式24ビットデータ(RGB各8bit)
	※JPEGファイルを表示する時のKEY出力は、100%キーを出力します。
・登録枚数	16枚 (Key付き静止画)
	静止画ファイルの転送は専用アプリケーションで行います。
	フラッシュメモリーに記録した 16 枚の静止画の中から任意の 2 画像を選択
・プリセット	し、プリセットパターンとして 10 個登録できます。表示位置設定等は専用ア
	プリケーション又はモジュール正面操作機で行います。
外部制御	
・プリセット選択	登録したプリセットパターンは 10 個の接点で直接切り替えることができま
	す。接点入力後、2フレームで切り替わります。

## 2. 定格

入力信号		
• REF IN	BBS 0.43Vp−p/75Ω,3值SYNC 0.6Vp−p/75Ω    BNC	; 1系統
出力信号		
• FILL OUT 1、2	SMPTE292M, SMPTE259M-C準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω BNC	;各1系統
• KEY OUT 1、2	SMPTE292M, SMPTE259M-C準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω BNC	) 各1系統
外部I/F		
• REMOTE (PARALLEL)	接点入力×11 D-sub 15(f)高密度タイプ インチネジ	1系統
• RS-422	D-sub 9(f) <b>インチネジ</b>	1 系統
映像フォーマット	HD:1080i/59.94、1080i/50 SD:525i/59.94、625i/50	
動作温度	0∼40°C	
動作湿度	20~80%RH(但し、結露なきこと)	
消費電力	6VA (5V,1.2A)	

## 3.性能

出力特性

• FILL OUT、KEY OUT	
分解能	8bit
サンプリング周波数	HD:74.18MHz、SD:13.5MHz
信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
反射減衰量	HD:5MHz~742.5MHz 15dB以上,742.5MHz~1.485GHz、10dB以上
	SD:5MHz~270MHz、15dB以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD:270ps以下(20%~80%間)
	SD:0.4ns~1.5ns(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD:1.0UI, SD:0.2UI





# お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。
 本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
 大阪営業所 TEL 06-6195-8741
 ビデオトロン株式会社 E-Mail:sales@videotron.co.jp
 本社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

נדארם>webשירא https://www.videotron.co.jp 101138R18

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。